

ヤング ウェーブ



2012.7 vol.333

CONTENTS

- 青少年センターニュース
わくわく体験塾「海を学ぶ」
3回連続講座のうち2回実施しました。
- お知らせ
○ジュニアチャレンジ講座「バドミントン」参加者募集
○わくわく体験クラブ「清流の中で鮎のつかみどりとお食事」「親子ホスター教室」参加者募集
- 開館・イベントカレンダー
- センター関連団体スタッフの紹介

＜編集・発行＞

豊橋市青少年センター

（指定管理者：NPO愛知ネット）

〒441-8087 豊橋市牟呂町字東里26

TEL：0532-46-8925 FAX：0532-46-8975

E-Mail：info@toyohashi-yc.jp

URL：http://toyohashi-yc.jp

今年も緑のカーテンを実施しています。



去る5月19日（土）、6月16日（土）と「海から豊橋の魅力を知ろう」と題して、わくわく体験塾「海を学ぶ」の3回連続講座のうち、2回を実施しました。第1回の「六条干潟を学ぶ」では、実際に六条干潟に足を踏み入れ、そこに生息している生き物を見つけ、観察したり、捕まえたりして、六条干潟に精通している講師に説明していただきました。

青少年センター ニュース

わくわく体験塾「海を学ぶ」
3回連続講座のうち
2回実施しました。



六条干潟→



カモメリア←

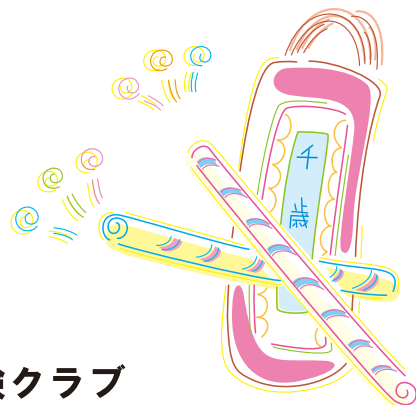
また、集合場所の青少年センターに於いては、青少年の清掃能力の実験を行ない、アサリを入れた水槽と入れない水槽の浄化作用の違いを目の当たりにし、参加者の方々は自然の生態に驚いていました。河港を学ぶ」で、カモメリアを会場に三河港の役割を学んだあと、船に乗船し三河湾内を見学しました。第3回は、7月31日（火）に「三河湾を学ぶ」を開講予定です。

ジュニアチャレンジ講座「バドミントン」
鮎つかみどり・親子ポスター教室

お知らせ詳細は裏面へ

青少年センターからの

お知らせ



ジュニアチャレンジ講座 「バドミントン」 参加者募集

小学生向けに夏休みバドミントン教室を行います。体を動かして、元気に夏休みを過ごしましょう。

- 日 時：7月21日（土）、7月22日（日）、7月28日（土）、8月11日（土）、8月18日（土）、8月19日（日）
午前10時～午前11時30分
- 対 象：市内在住の小学3年生～小学6年生
- 場 所：豊橋市青少年センター 体育室（牟呂町字東里26）
- 定 員：20人（申込順）
- 受講料：500円（教材費）
- 持ち物：ラケット、体育館シューズ
- 問合せ：7月5日（木）から豊橋市青少年センターへお申込みください。
（TEL：0532-46-8925）

わくわく体験クラブ 「清流の中で鮎のつかみどりとお食事」 「親子ポスター教室」 参加者募集

＜親子ポスター教室＞

- 日 時：7月26日（木）・27日（金）（全2回）
午前10時～正午
- 場 所：豊橋市青少年センター（牟呂町字東里26）
- 対 象：市内在住の小学生と保護者
- 定 員：30人（申込み多数の場合は抽選）
- 持ち物：（両日とも）画用紙2～3枚
絵の具セッケー式またはクレヨン、筆記用具
- 参加料：無料
- 申込み：7月10日（火）までに返信先明記の往復はがきに参加者全員の住所・氏名・学年・電話番号、親子ポスター教室参加希望と明記し青少年センターへ郵送してください。

＜清流の中で鮎のつかみどりとお食事＞

- 日 時：7月29日（日）
午前9時30分～午後5時 貸切バス使用
- 場 所：本宮山自然休養村（岡崎市）など
- 集 合：午前9時に豊橋市青少年センター
- 対 象：市内在住の小・中学生と保護者
- 内 容：鮎のつかみどりとお食事（鮎料理）、ぎょうろランド見学
- 定 員：35人（申込順）
- 持ち物：タオル、飲み物、着替え
- 参加料：1人2,600円（食事代等）
- 申込み：7月5日（木）以降に参加料を添えて青少年センターへ直接お申込みください

7月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1 七夕	2	3 レク	4 ココニコ	5	6 ダンス レク	7
8	9	10 レク	11	12	13 ダンス レク	14
15	16	17	18 ココニコ	19	20 ダンス レク	21 バド
22 バド	23	24 レク	25	26 ポスター	27 レク ポスター	28 バド
29 鮎	30	31 レク・海				

休館日
 七夕：四季の行事教室「七夕のつどい」
 レク：レクリエーション・インストラクター養成講座
 ココニコ：ここにこサークル
 ダンス：青年講座 JAZZダンス
 海：わくわく体験塾「海を学ぶ」
 バド：ジュニアチャレンジ講座「バドミントン」
 鮎：清流の中で鮎のつかみどりとお食事
 ポスター：親子ポスター教室

【生きづらさを生かすには】

とよはし若者サポートステーション（とよサポ）では、様々な生きづらさを抱えた若者たちが訪れています。



とよはし若者サポートステーション
という かずし
伊藤 和志

彼らの多くは、そのことをマイナスだと捉え、また周囲からも認められずに過ごしています。

そのような「生きづらさ」を生かすには、ありのままの姿を認められる必要があると思います。

とよサポは、それができる場所でありたいと思います。